

## 府中市生涯学習審議会（平成26年度第8回）会議録

1 日 時 平成27年3月2日（月）午後3時半～5時半

2 会 場 府中駅北第2庁舎 4階会議室他

3 出席者

（1）委員12名（50音順）

石田和男委員、大谷久知委員、川内清文委員、木内直美委員、茂田嘉彦委員、  
設楽厚子委員、芝 喜久子委員、鈴木映子委員、田野倉晴美委員、  
寺谷弘壬委員、三宅 昭委員、山内啓司委員

※井上治男委員、小林 繁委員は欠席

（2）職員3名

矢ヶ崎生涯学習スポーツ課長、目黒学習推進係長、大木事務職員

4 開会

5 連絡事項

（1）配布資料の確認

- ①平成26年度第7回生涯学習審議会会議録、 ②社教情報 No, 72、
- ③社教連会報 No, 76号、 ④府中のスポーツ第26号、
- ⑤みんなの生涯学習 No, 119、 ⑥「東京空襲資料展」のチラシ

（2）議事録の確認

第7回会議録（案）について、市民に公開することが了承された。

（3）平成26年度都市社連協 第2回理事会の報告

2月19日（木）午後2時半 あきる野市中央公民館

[意見の趣旨] ■：委員 ➡：事務局

- 協議事項としては、平成26年度都市社連協表彰についてであった。府中市からは4名が表彰される。来年度の幹事市は西東京市で、統一テーマは「学び行動する市民が創造する循環型の地域学習社会を目指して」になった。また、平成27年度都市社連協 定期総会が4月18日（土）秋川キララホール（あきる野市）にて開催される。その総会の時に報告があると思うが、交流大会・社会教育委員研修会が

1 2月5日（土）こもればいホール（西東京市）で開催される。総会に向けての予算案及び、計画案の報告があり、理事会で全て承認されたことを報告する。

先日、郵送されてきたが、3月11日（水）調布市たづくりにて、演劇を通して社会教育を考えるとということで、教育委員会と調布市社会教育委員の会議が主催で、昨年の第5ブロック研修会で公演した「シャドーボクシング」を市民向けに公演するので、時間がある方は出席していただきたい。

## 6 審議・協議事項

### （1）答申案の検討について

- 事務局より事前に修正版を送っていただいた。1ページの「はじめに」について、ご意見はあるか。
- （特に意見なし）
- ➡ （2～5ページを読み上げ）
- （特に意見なし）
- ➡ （6～7ページを読み上げ）
- 何かご意見はあるか。
- （1）下から5行目「営利性の有無についての判断基準や定義があいまいである」ということだが、これは社会教育法の規定があいまいなのか。
- ➡ 法律上、営利事業を行うことが禁じられているが、営利事業とは何かが示されていない。府中市では厳しく解釈していて、営利企業が行う公益的な事業であっても、企業の広報戦略の一環として断っている事例がある。それが本当に営利事業かどうかは、府中市の場合は吟味することはせず、企業等が主体となっている事業であれば営利事業とみなしている。
- NPO法上では営利とは何かが定義されていて、単に出資者に収益を分配しないということになっている。普通はそうだと解釈している。
- ➡ 法律があいまいなので、府中市が営利性の有無について判断基準を定めて要件を緩和しても良いと思うが、公民館も40年以上の歴史があるので、今のところ慣習としての判断が続いている。公民館が建設され始めた昭和40年代はそういう問題はなかったが、最近になり、市民活動をする方から営利とは何かという声が上がっている。
- 任意団体でもNPOでも収益事業がなければ何もできなくなるので、収益事業すなわち営利事業という判断は変えていった方が良く思う。
- NPO法ではしっかり定義されているので、そこで判断できないか。
- まだ早いと思う。

- 将来的には解消すべき課題のひとつとしても、ここではある程度あいまいな形で進めざるを得ない。
- ➡ 公民館は社会教育法概念に基づいた施設なので、その判断は社会教育法の中でされるべきだと思う。社会教育法の規定そのものは、市としては改善が難しい中で、府中市の判断基準についてもあいまいであるという意味の表現として受け取っている。
- 6ページの下から2行目、9行目「インセンティブ」について、社会的な用語になりきれてないので、「知的な刺激」と変更してはどうか。
- (一同了承)
- ➡ (8～10ページ、「おわりに」を読み上げ)
- (特に意見なし)
- 次にタイトルを決定したい。考えてきた方は案を出していただきたい。  
(次の案があがる)
  - ・生涯学習は学び返しと市民協働で
  - ・生涯学習に係る各種の施策を推進する
  - ・持続する生涯学習のさらなる発展のために
  - ・「学び返し」で町を育む生涯学習 ～人とつながり 人を育てる～
  - ・振り返りと未来への提言
  - ・市民協働で生涯学習の推進  
～世代をつなげるコミュニティで「学び返し」の環境づくり～
  - ・～人と人のつながり強化と「学び返し」
- 以上の案が出され、協議した結果、  
「市民協働で生涯学習の充実を ～「学び返し」で人がつながり 人を育てる」  
に決定した。

## 7 答申の提出について

会場を改め、生涯学習審議会会長より教育長へ答申を提出した。

以上